

平成28年11月25日

中部地方整備局

お知らせ

伊勢湾再生を願う57団体が伊勢湾流域圏190地点で一斉調査！

～平成28年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリングの結果（中間報告）について～

1. 概要 :

伊勢湾再生推進会議（行政14機関にて構成、別紙—1参照）では、伊勢湾再生行動計画の一環として、「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を行いました。今夏実施した調査結果について、11月1日時点の集計分を取りまとめましたのでお知らせします。

○調査期間：平成28年7月8日（金）～8月24日（水）

○参加者及び調査地点（11月1日現在）

参加者：学校、個人、市民団体、民間企業、自治体など57団体

調査地点：伊勢湾の海域31地点

伊勢湾に流れ込む河川等159地点

○調査内容：水質（簡易水質テスト等）、ゴミ、水生生物調査

○調査結果：別紙—2のとおり

本モニタリング調査は、水質及び生物の生息状況を継続的に調べることで、伊勢湾流域圏における水環境の状態を把握するとともに、多くの皆様に伊勢湾に関心を持っていただき、伊勢湾再生への意識を高めることを目的としています。

今回お知らせするのは、「簡易水質テスト・ゴミ・水生生物調査」の結果をまとめたものです。今後は、自治体が行った室内水質試験等も含めて報告書にとりまとめ、公表する予定です。

伊勢湾再生推進会議では、引き続き、「人と森・川・海の連携により健全で活力のある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとして、伊勢湾再生行動計画に基づき伊勢湾再生に取り組んでいきます。

2. 資料 : 平成28年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング結果（中間報告）の概要（別紙—2）

※今回の一斉モニタリング結果の詳細につきましては、下記URLをご参照ください。

http://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/sai_ise/b_issei.htm

3. 配付先 : 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、四日市市政記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

4. 問合せ先 : 伊勢湾再生推進会議「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」事務局

国土交通省中部地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課

課長補佐 武田 久二

海洋環境係長 横井 良典

TEL : 052-209-6329



伊勢湾再生推進会議の構成機関

国土交通省 中部地方整備局
海上保安庁 第四管区海上保安本部
内閣府 地方創生推進事務局
農林水産省 東海農政局
林野庁 中部森林管理局
水産庁 漁港漁場整備部
経済産業省 中部経済産業局
環境省 中部地方環境事務所
岐阜県
愛知県
三重県
名古屋市
名古屋港管理組合
四日市港管理組合

平成 28 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング結果（中間報告）の概要
—簡易水質テスト・ゴミ・水生生物調査結果—

1. モニタリングの目的

水質、生物の生息状況を継続的に調査することで伊勢湾流域圏全体における水環境の状態を把握するとともに、多くの皆様から伊勢湾に関心を持っていただき、伊勢湾再生への意識を高めることを目的としています。

2. モニタリングの実施内容

今回の一斉モニタリングでは、簡易に水質テストが行える調査キットを活用して、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に、伊勢湾の海域（31 地点）や伊勢湾に流れ込む河川の集水域（159 地点）で、学校、個人・市民団体、民間企業、自治体など、57 団体の参加により水質等の一斉調査を実施しました（調査地点数、団体数は平成 28 年 11 月 1 日現在の集計値）。

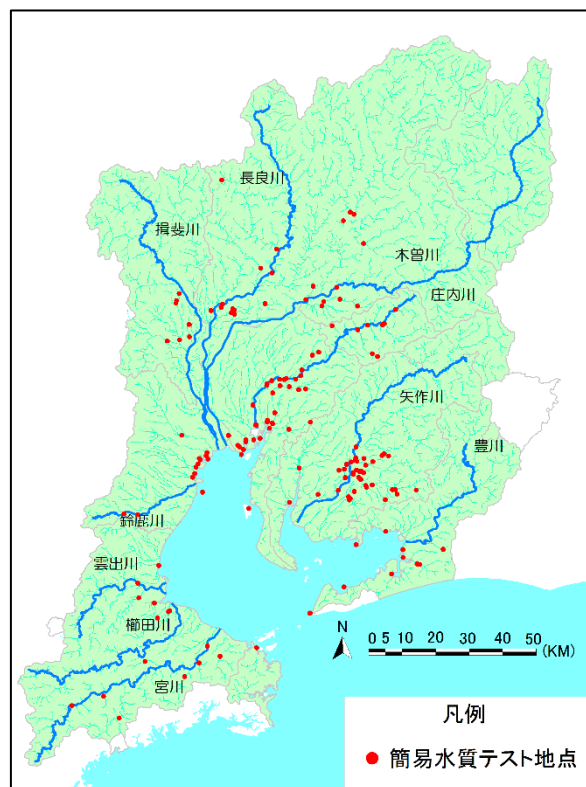
なお今回お知らせするのは、「簡易水質テスト・ゴミ・水生生物調査」の結果をまとめたものです。今後は、自治体が行った室内水質試験等も含めて報告書にとりまとめ、公表する予定です。

(1) モニタリング期間

平成 28 年 7 月 8 日（金）～8 月 24 日（水）

(2) モニタリング調査項目

水質（COD、アンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、りん酸態りん）、ゴミ、水生生物



平成 28 年度の一斉モニタリング（簡易水質テスト）調査地点

3. 調査結果

●簡易水質テスト

バックテストという調査キットで、伊勢湾や伊勢湾に流れ込む河川の水質を調べました。調査結果のうち、COD とりん酸態りんの分布は、次のようになりました。

COD (化学的酸素要求量)



PO₄³⁻-P (りん酸態りん)



CODは、湖沼や海域の有機部による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。

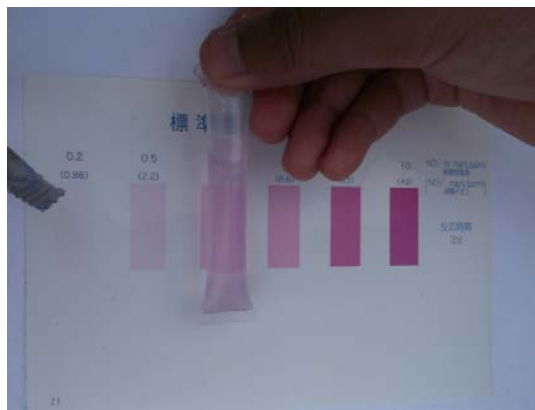
庄内川等の市街地を流れる河川や、堀川、論田川等の中小河川や支川において、8mg/L以上の高い値が観測されています。生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

りん酸態りん(PO₄³⁻-P)は、りんの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素で、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれます。

庄内川等の市街地を流れる河川や、梅田川等の中小河川や支川において、0.11mg/L以上の高い値が観測されています。生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。



簡易水質テストの様子



簡易水質テストの結果

● 「水のきれいさ」の感覚的な評価

調査した方に、「水のきれいさ」を、見た目でも5段階評価していただきました。

水のきれいさ



評価は、(悪い 1・2・3・4・5 良い) の5段階でしていただきました。この結果は、調査した方が感じた調査地点の水の印象の指標と考えられます。

河川の上流側ほど4以上の比較的水がきれいという評価が多く、見た目の印象は、COD等の調査結果よりもやや良い結果となっています。

ただし、名古屋港等の湾奥においては2～3程度の評価が多くなっています。

● ごみ調査・水生生物調査

ごみの漂着状況や水生生物の生息状況についても、調査が行われました。



海岸のごみの状況



川での生物調査の様子

3. モニタリング詳細情報

一斉モニタリング結果の詳細は、以下のURLよりご覧になれます。

http://www.cbr.milt.go.jp/kikaku/sai_ise/b_isei.htm